

審査結果報告書

平成30年1月31日

主査氏名

岡本浩司



副査氏名

宮崎浩二



副査氏名

河内康雄



副査氏名

堀口真由り



1. 申請者氏名 : DM14019 藤田 鉄平
2. 論文テーマ :
急性心不全患者における予後予測指標に関する臨床研究
3. 論文審査結果 :

申請者は急性心不全患者の予後予測指標に関する探究を行うため、先ず血管内 volume の変化指標として知られるヘモグロビン濃度の変化を用いて急性心不全患者の初期治療後に生じる hemodilution 及び hemoconcentration が持つ臨床的影響を検討した。方法は急性心不全で入院した患者を入院治療3日間で hemodilution 群と hemoconcentration 群に層別化し比較した。結果は hemodilution 群の患者の方が hemoconcentration 群と比較して重症肺水腫が多く、かつ退院後の心不全再入院率が高く hemodilution は予後予測指標となり得た。次に左室収縮末期エラスタンス(Ees)の心不全の予後予測指標としての可能性を検討するため single-beat 法による Ees を測定し中央値で high-Ees 群と low-Ees 群に分け比較した。結果として薬物治療後の左心収縮率の改善は high-Ees 群で優位に高く、心不全再入院率が低く、更に Ees は心血管イベントの独立規定因子であったため Ees も予後予測指標となり得た。以上のように本研究は心不全の予後予測指標を追求したもので学問的価値が高く、臨床的にも優れた研究であるため学位論文として相応しくかつ申請者の発表や質疑応答も適切であったため学位審査は合格と判断した。